

リベラルアーツとしての読書のアニメーション

第51回 沖縄県大学図書館協議会 講演会 2023.9.22

講師：上原明子（沖縄キリスト教学院大学・短期大学図書館長）

準備はいいですか？

本日は講演というより、ファシリテーションにご参加なさるつもりで、一緒に学びの時間を過ごしていただければと思います。

10の「問いかけ」をします。

「？」を考えることで、参加なさる皆様のココロが「アニメーション」されますように。

私は、ファシリテーターの上原明子です。

ファシリテーションとは、乗組員がゴールを目指して漕ぐ小舟をイメージしてください。

ファシリテーターとは、舟の舵取りの役目です。

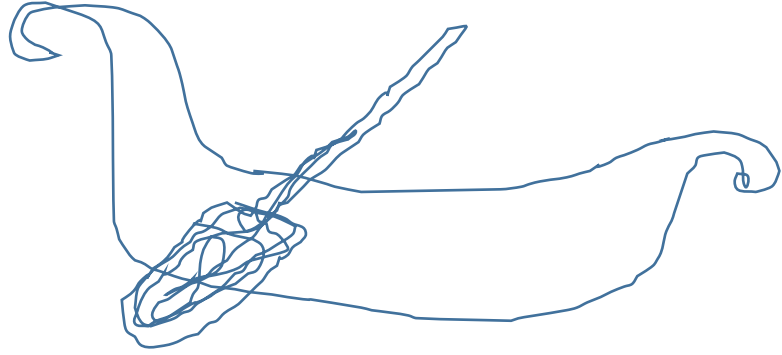
本のページをめくるように…何が書かれているがワクワクするように…

この学びの小舟を一緒に漕いで、本日のゴールへ向かいましょう。

OARR (オール) で、 ファシリテーションの航海へ漕ぎだそう

- O: Outcome → ゴール、目標、目的
- A: Adgenda → プログラムの流れ
- R: Role → 役割、参加者に期待すること
- R: Rule → ○○しよう (禁止ではなく、肯定表現で)

オールを握ってください。



この小舟を漕ぐためのオール（OARR）をお渡しします。

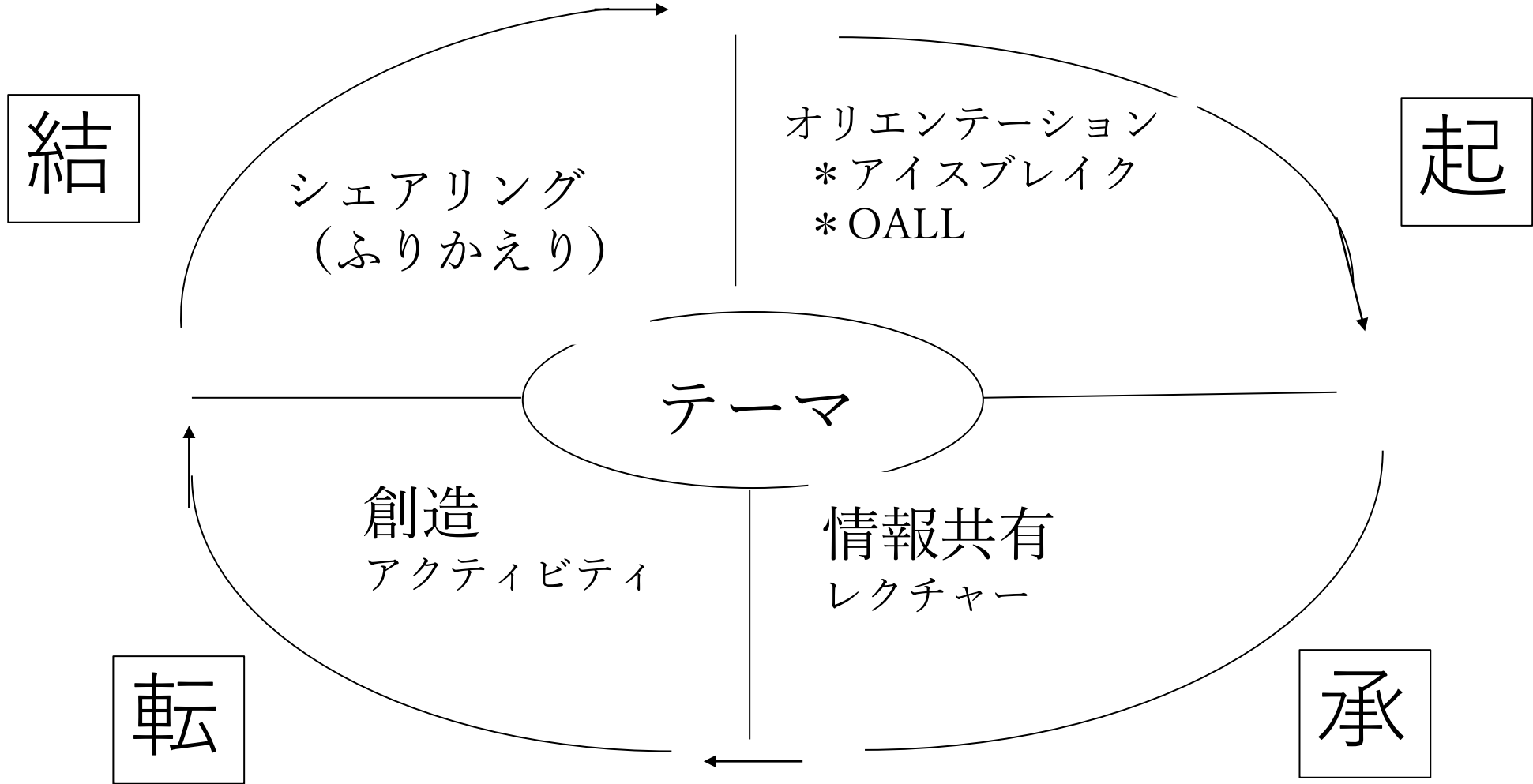
O：ゴールは「VUCAの時代」「リベラルアーツ」「アニメーション」の重なりがみえること。

A：プログラムは、4つの枠組みになっています。だいたい60分です。

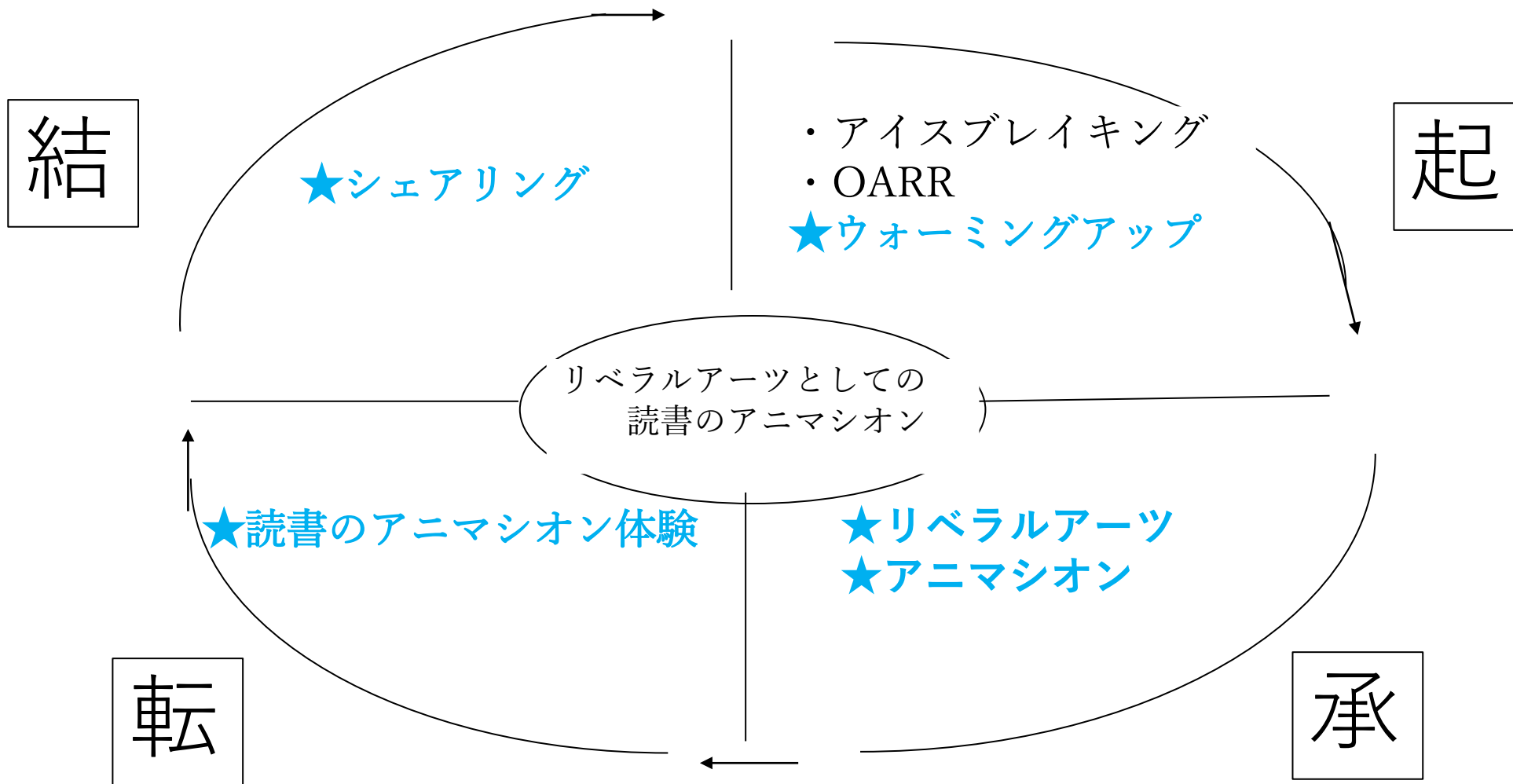
R：皆様に期待することは、ココロを動かすこと。

R：ルールは1つ。「楽しむもう」

プログラムデザイン



「リベラルアーツとしての読書のアニメーション」
プログラムデザイン



「準備はいいですか？」

これは、マザー・テレサのコトバです。

私の大好きなコトバです。

そう問われるときに備えて、いつも準備しておきたいと
思っています。

さあ、出発しましょう！

リベラルアーツとしての読書のアニメーション

1 ウォーミングアップ

- ・ココロを動かす「オノマトペ」をさがしてみましよう！

2 リベラルアーツと読書

- ① VUCAの時代とリベラルアーツ
- ② リベラルアーツとしての読書のアニメーション

3 読書のアニメーション体験

- ① 『わたしは樹だ』 マッピングメモ
- ② 群読で、協働（コアワーク）
- ③ ブックトークでコミュニケーション

4 シェアリング（まとめ・ふりかえり）

ココロを動かすオノマトペ

ワクワク

イキイキ

ハラハラ

モヤモヤ

イジイジ

アニメーションとは、

ココロを動かすことで

ココロを育むこと

どんなふうに、ココロが動くか？

楽しみながらご参加ください。

リベラルアーツとしての読書のアニメーション

1 ウォーミングアップ

- ・ココロを動かす「オノマトペ」をさがしてみましよう！

2 リベラルアーツと読書

- ① VUCAの時代とリベラルアーツ
- ② リベラルアーツとしての読書のアニメーション

3 読書のアニメーション体験

- ① 『わたしは樹だ』 マッピングメモ
- ② 群読で、協働（コアワーク）
- ③ ブックトークでコミュニケーション

4 シェアリング（まとめ・ふりかえり）

VUCAとは

Volatility (変動性)

Uncertainty (不確実性)

Complexity (複雑性)

Ambiguity (曖昧性)

Volatility (変動性) Uncertainty (不確実性) Complexity (複雑性) Ambiguity (曖昧性)

VUCAの時代をいかに乗り切るか？

Volatility (変動性) Uncertainty (不確実性) Complexity (複雑性) Ambiguity (曖昧性)

VUCAの時代を乗り切るチカラ

自由に思考し、行動する
セルフウエェアネス (自己認識)
コワワーク (協働)
「常識」を相対化する思考・視点

などなど…

Volatility (変動性) Uncertainty (不確実性) Complexity (複雑性) Ambiguity (曖昧性)

VUCAの時代を乗り切るチカラ

自由に思考し、行動する

セルフウエェアネス (自己認識)

コワーク (協働)

「常識」を相対化する思考・視点

どこで、どうやって、身につけるのか？

今、再注目されているのは

リベラルアーツ

リベラルアーツとは？

リベラル = 自由

アーツ (アート) = 技術

リベラルアーツとは

自由になるための技術

「自由」とは？

ヨハネ 8 : 31

真理はあなたたちを自由にする

真理とは？

「真理」をご自分のコトバで表現するなら…

「真理」とは

不易と流行の中にあって、
何が不易からを見抜く「まなざし」

何かから自由になる？

ゆるがないまなざしによって、
問いなおし、問いかけ、
常識・当たり前から、自由になる

リベラルアーツが育むのは？

リベラルアーツが育むのは？

問うチカラ

見抜くまなざし

クリティカル・シンキング

論理的思考

コミュニケーション力

自己認識

他者理解

リベラルアーツの大切な特性は

事後性

成果がすぐにわからない

熟成されたのちに、生まれる

「待つ」 学びのあり方

そんな悠長なことできない？

VUCAの時代を乗り切るためには、
遠回りにみえても、むしろ、
リベラルアーツが大事ではないか？

リベラルアーツとしての読書のアニメーション

1 ウォーミングアップ

- ・ココロを動かす「オノマトペ」をさがしてみましよう！

2 リベラルアーツと読書

- ① VUCAの時代とリベラルアーツ
- ② リベラルアーツとしての読書のアニメーション

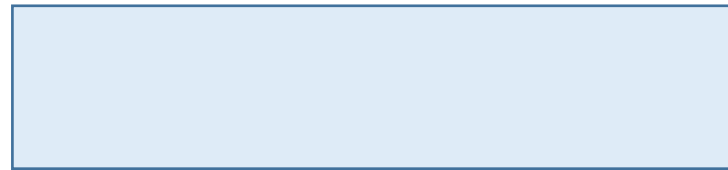
3 読書のアニメーション体験

- ① 『わたしは樹だ』 マッピングメモ
- ② 群読で、協働（コアワーク）
- ③ ブックトークでコミュニケーション

4 シェアリング（まとめ・ふりかえり）

シェアリング（ふりかえり）

読書は



を育む

読書は、

他者尊重の感覚を育む

他者尊重の感覚は、
平和文化創造のチカラを生む

読書のアニメーション

もし自分から本を選ぶ自主的な子どもが育ったなら、その子どもは人生のいかなる場面でも、自由に手にした本の中から、豊かさや喜びをくみ取ることでしょう。また文字媒介のどんなメディアをも理解できたら、やはりその子どもは確固たる批判センスを持つであろうし、出来事について思い巡らすことができ、世の中で対処できる人になれるのではないのでしょうか。

子どもを「読み手として導くためのプラン」が必要になります。もし学校が、教えようという視点からではなく、育てようという視点から読書教育を計画するなら、この本の作戦を用いるととても簡単です。

表面的で、単に文字を追う「退屈な読書」から、「積極的読書」すなわち美しいものを味わう力を引き出すよう工夫されているからです。そういった力は、いつも子どもの中にあるのに眠ったままですが、段階に応じて、的確に方向づけられた読書は、その力を育むことが可能です。

アニメーションとは

アニメーションの「アニメ (anima)」とは、ラテン語のアニメ (anima) = 魂・生命に発し、すべての人間がもって生まれたその命・魂を生き生きと躍動させること、生命力・活力を吹き込み心身を活性化させることを意味しています。英語のアニメーション (animation) と同義語です。

日本語に訳せば「活性化」ということでしょうか、残念ながらこれでは少々堅すぎで現代語にはピッタリ当てはまる言葉がありません。しかし古語をたずねますと『梁塵秘抄』の中などでつかわれている「…遊ぶ子供の声聞けば、我が身さへこそ動がるれ」の「動 (ゆる) ぐ」という言葉の持つ語感がピッタリではないかと思われます。

アニメーションは教え・学ぶ営みであるエデュカションと違って、遊びや余暇や文化活動を通して、面白さ・楽しさ・歓びを追求しつつ精神を活性化させ、人間が豊かに成長していく独自の営みをとらえた概念であり、「学ぶこと」や「働くこと」をも根底から支える人間生活の根源的なエネルギーを生み出す機能といえるでしょう。

社会文化アニメーション

社会文化アニメーションは、第二次大戦後の経済の成長期に、経済的価値と経済効率を追求するあまりに、人間的な生活を歪める危機的状況が生じたことに対抗しつつ人間本来の主体性と内面的な精神の活力や想像力を大切に、生活・文化・社会を活性化させていく方法理念。

フランスでは、1960年代の半ばから社会文化アニメーションをすすめる専門職のあり方が研究されて、1970年代に「社会・教育・スポーツ・文化の活性化にあたる専門職員」として国によって正式に専門職化がなされました。その専門職員をアニマトゥール（仏）、アニマドール（西）、アニマトーレ（伊）と呼んでいます。この本の中では、それら全体に共通する英語を使用して「アニメーター」と表記していますが、その専門性は、教える人＝教師とは違って、活動と一緒に楽しみながら、イキイキ、ワクワク、ハラハラ、ドキドキする心身の活性化を生みだし、取り組みへの主体性と生きる活力をひき出していくことにあるのです。

日本の読書のアニメーションについて

日本の「読書のアニメーション」まだまだ20年（※2018年）にすぎません。まだまだ研究・開発・実践と検証が蓄積されていかなければなりません。そのためには、まずタブーをつくらないことです。私は、今の段階での実践は、試行錯誤を重ねている段階だと思っています。

大事なことは、「それはアニメーションであるのか、ないのか」ではなく、「やってみること」です。

そして、それを公開し、仲間と議論し高めあっていくことだと思います。私たちはもっと遠くまで行かなければならないのですから。

岩辺泰史（読書のアニメーション研究会代表）

『ようこそ、読書のアニメーションへ』種村エイ子・子どもの本かごしま（南方新社）p.199

読書のアニメーションで鍛えるチカラ

柔軟なまなざし

問いかけを受け止める

問いを生み出す

自分をみつめる

自分以外の存在を尊重する

わからないことにワクワクできる

ココロを動かして

「自由」なココロを育てる

それが、アニメーション

ココロを動かして

「自由」なココロを育てる

それは、リベラルアーツ

アニメーションで貫いたリベラルアーツ

アニメーションで育む読書教育

リベラルアーツとしての読書のアニメーションは、
VUCAの時代を乗り切るチカラを支える
…かもしれない

リベラルアーツとしての読書のアニマシオン

1 ウォーミングアップ

- ・ココロを動かす「オノマトペ」をさがしてみましよう！

2 リベラルアーツと読書

- ① VUCAの時代とリベラルアーツ
- ② リベラルアーツとしての読書のアニマシオン

3 読書のアニマシオン体験

- ① 『わたしは樹だ』 マッピングメモ
- ② 群読で、協働（コアワーク）
- ③ ブックトークでコミュニケーション

4 シェアリング（まとめ・ふりかえり）

①『わたしは樹だ』 マッピングメモ

※著作権使用許可済

②群読で、協働（コアワーク）

③ブックトークで、コミュニケーション

リベラルアーツとしての読書のアニマシオン

1 ウォーミングアップ

- ・ココロを動かす「オノマトペ」をさがしてみましよう！

2 リベラルアーツと読書

- ① VUCAの時代とリベラルアーツ
- ② リベラルアーツとしての読書のアニマシオン

3 読書のアニマシオン体験

- ① 『わたしは樹だ』 マッピングメモ
- ② 群読で、協働（コアワーク）
- ③ ブックトークでコミュニケーション

4 シェアリング（まとめ・ふりかえり）

本日の問いかけ

- ココロを動かす「オノマトペ」とは？
- VUCAの時代を乗り切るチカラとは？
- そのチカラをどうやって身につけるのか？
- リベラルアーツとは？
- 「自由」とは？
- 「真理」とは？
- 何から自由になるのか？
- リベラルアーツが育むものは？
- 読書が育むのは？

「アニメーション」 しましたか？